

守山まるごと活性化プラン検討委員会
第3回 学区別会議（玉津学区）

日時：平成25年8月13日（火）

19：30～21：30

場所：玉津会館

次 第

1. あいさつ
2. 説明
 - 本日の進め方
 - 第2回検討結果の説明
3. 意見交換（テーブル毎に）
 - 前回のふりかえり
 - 学区のまちづくりの課題と方向
4. 結果の発表・共有
5. 次回の予定など

守山まるごと活性化プラン検討委員会（学区別会議）委員名簿

【 玉津学区 】

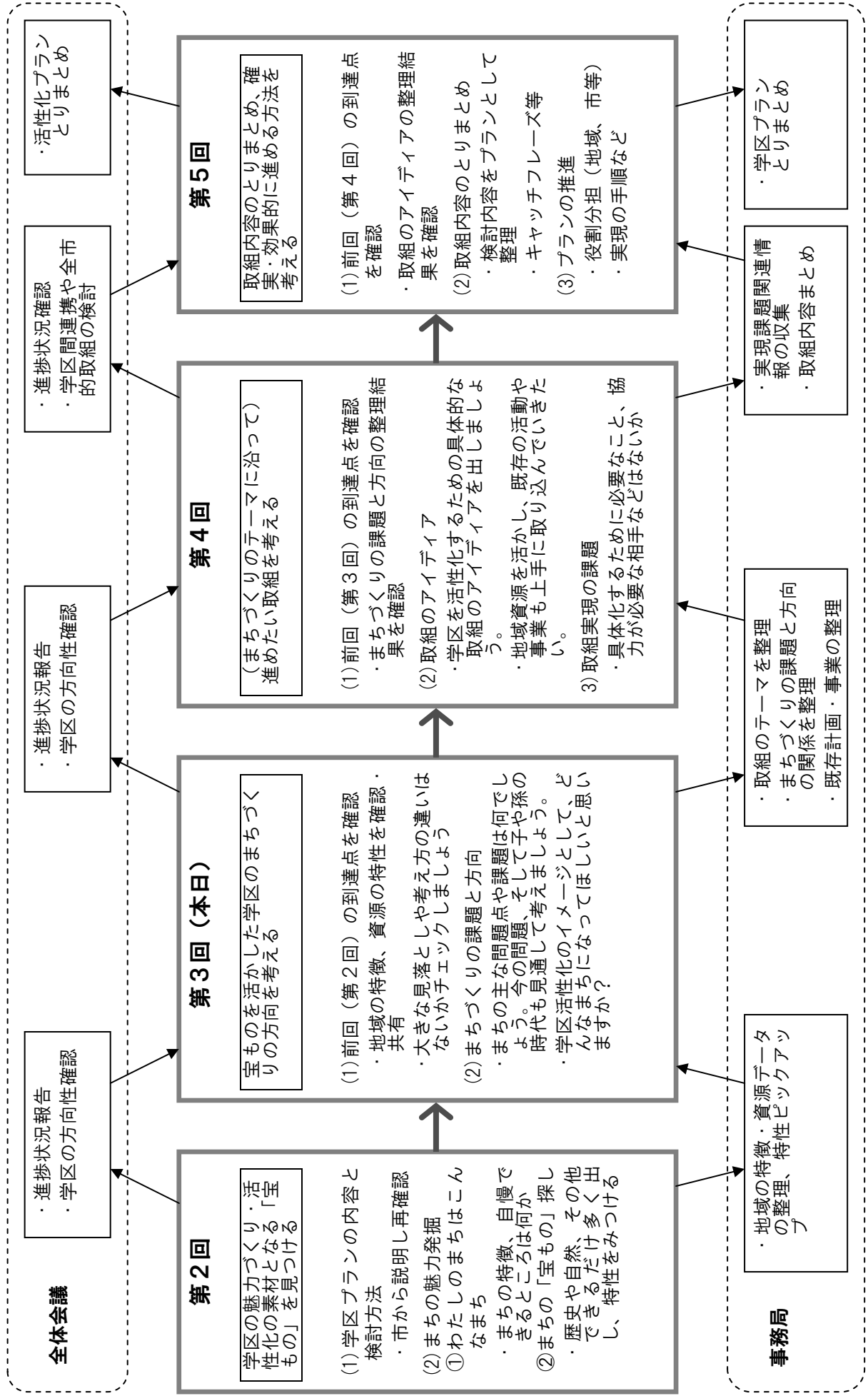
H250724 現在 敬称略

No.	自治会	名前	
1	赤野井	谷口 喜久	たにぐち よしひさ
2	赤野井	赤井 武志	あかい たけし
3	赤野井	堀井 久嘉	ほりい ひさよし
4	赤野井	田中 善也	たなか よしなり
5	赤野井	徳地 智映	とくち ちあき
6	矢島	林 俊行	はやし としゆき
7	矢島	北野 進	きたの すすむ
8	矢島	藤田 康彦	ふじた やすひこ
9	矢島	大塚 美和	おおつか みわ
10	石田	赤井 清司	あかい きよし
11	石田	金野 弘子	こんの ひろこ
12	石田	澤田 文子	さわだ ふみこ
13	石田	中西 清重	なかにし きよしげ
14	十二里	荒木 勝司	あらかき かつじ
15	十二里	十二里 勝美	じゅうにり かつみ

事務局

- ・ 濱崎一志（アドバイザー：滋賀県立大学 人間文化学部教授）
- ・ 松岡 幹雄 ・ 鈴木 文男 ・ 松山 正
- ・ 坪内 稔夫 ・ 吉原 史雄 ・ 足立 慎也
- ・ 奥村 彰彦 ・ 田渕 誠一 ・ 小野田 敦 ・ 貞松 純子

学区別会議の進め方



守山まるごと活性化プラン検討委員会 学区別会議 ニュースレター

第 2 回 学区別会議 [玉津学区]

平成 25 年 7 月 24 日（水）午後 8 時から玉津会館において、守山まるごと活性化プラン検討委員会の第 2 回学区別会議を開催しました。

最初に「守山まるごと活性化プラン」の目指すもの、検討の進め方などについて事務局から説明がありました。その後、玉津学区にお住まいの住民 14 名で、「地域の特徴、良いところ」、「地域のたからもの」について話し合いが行われ、最後に参加者同士で共有しました。

学区別会議の様子

■当日のプログラム

- ①挨拶：谷口学区長より
- ②内容説明：プランの内容と検討方法、会議当日のプログラム内容
- ③テーブルに分かれて意見交換：『地域の特徴、良いところ』、
『地域のたからもの』さがし
- ④結果の発表・共有：テーブル毎で話し合った内容を発表して共有



▲テーブル毎に話し合いました

■谷口学区長の挨拶（抜粋）

「活性化」という言葉を調べてみると、「今まで使われなかったものに刺激を与え、使われるようにすること」と説明されている。この守山をより元気にしていくため、歴史的資源など単なる「もの」だけに限らず、まちの活性化、コミュニティの活性化、観光の活性化など、360 度に視野を広げていただき、地域の資源を活用する方策を考えていただければと思う。

テーブル毎に玉津学区の『特徴、良いところ』、『たからもの』について話し合いました

- 3つのテーブルに分かれ、それぞれの『地域の特徴、良いところ』、そして『たからもの（今まで大事にしてきたものや文化、自慢できるものなど）』を話し合いました。
- 『地域の特徴や良いところ』で出てきた意見の中には、玉津学区に共通して、「人と人のつながりが強い」、「地域の伝統行事などが継承されており、それらを通じて地域の間関係が形成されている」「地域への愛着、一体感などが感じられる」などのご意見もありました。一方で、「この地域の歴史や伝統をどのようにして、次の世代に継承していくのか」など、今後の地域のあり方についての課題も出されました。
- 『たからもの』では、湖岸付近のかつての賑わいのあった記憶、地区の神社やお寺などで継承されている祭・神輿など伝統文化に関することが多く出てきました。また、自然が豊かで四季折々の風情が感じられる環境も玉津学区の特徴となっています。



▲話し合いをしている様子です。



▲発表会を通じて情報の共有化をしました。

■お問い合わせ

守山市政策調整部みらい政策課

〒524-8585 守山市吉身二丁目5番22号

TEL : 077-582-1162 e-mail : miraiseisaku@city.moriyama.lg.jp

守山まるごと活性化計画 玉津学区 第3回会議

1. 第2回学区会議の意見まとめ

第2回学区会議で出された「地域の良いところ」、「たからもの」を整理すると以下のような玉津学区の特徴が浮かび上がった。

<玉津学区のまちの特徴、活かすべき特徴>

■地域の人のつながりが強い

- ① 自治会によらず玉津学区では共通して、「地域の中での人と人のつながりが強い」ことがあげられる。新しく居住された住民のいる地域においても、地域の人同士のつながりは強く、みんな協力的である。
- ② 昔から受け継がれてきた助けあい組織・仕組み（報恩請、無情請、伊勢請など）が残っている。特に祭などが、地域の人をつなぐ大きな仕組みとなっており、住民が一体感を感じられる催し事となっている。
- ③ 農村地域であったため、労力を奉仕することに抵抗を感じない土地柄という意味もあり、ボランティア精神や地域での協力精神が豊かである。

■地域に伝わる歴史・伝統・文化の存在

- ④ 伝統的な地域資源（お寺、神社、祭など）が数多く残っており、それらの存在・伝統が地域住民の愛着・誇りに繋がっている。
- ⑤ 湖岸付近では、かつては港、廻船問屋、旅館などがあり、蒸気船の出入りもあって賑わった歴史がある。

■豊かな自然と住みやすい地域

- ⑥ 自然豊かな地域であり、水や緑、生物に恵まれ、四季折々の季節感が感じられる環境にある。
- ⑦ 水、空気、人間、交通の便がよく住みやすい環境にある。

■地域での生活・地域の産物

- ⑧ 地域の産物である「矢島かぶら」を漬物にした伝統料理などがある。
- ⑨ 玉津小学校では玉津大発見という地域を知るための授業を実施している。

※伝統文化の継承（課題）

- ⑩ 少子高齢化が進む現在、昔から伝わる地区の伝統・歴史をいかにして次世代に継承していくかなどの課題がある。

1.1 地域の特徴、良いところ

自治会	分類	特徴
赤野井	人柄、人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ● みんながよく働く。 ● 「聞いて極楽、来てみて地獄」などの表現があるように、地域に住んでから馴染むのに時間を要する側面もある。 ● 信仰があつい。 ● 守山駅から約4km離れ田舎（農村地域）であるが、市街地部のコミュニティよりも、農業を通じて挨拶・会話がある。人と会えば誰もが挨拶をする。 ● 隣の人からよく野菜をもらったり、あげたりして、近隣住民間で交流がある。 ● 学校行事にも積極的に参加している。
	歴史・伝統・文化	<ul style="list-style-type: none"> ● 報恩講で近所づきあい（隣組）がある、 ● 伊勢講で順番に伊勢参りをしている。 ● 無常講で葬式を全員で行う。 ● 草木祭があり、若者のコミュニケーションの場となっている。 ● 年に1度の長刀祭りでは、赤野井地区全体がまとまり、ふれ合いを感じる。 ● 火事見舞いなどが残っている。
矢島	歴史・伝統・文化	<ul style="list-style-type: none"> ● 町内の事業（祭り・盆踊り）などにより、町内の人との交流がとれている。 ● 夜に「火の用心」まわりを行うなど、地域での一体感がある。 ● 祭りでは男衆のふんどしが特徴的。 ● 寺院行事や神社行事にはよく協力する。 ● 夏休みのラジオ体操の行事は、小学生だけでなく地域の方々も参加して盛り上げている。 ● 年間行事として8月14日の夜に盆踊りに多くの人々が参加し、自作の模擬店を出店している。 ● 古い慣習や地域の歴史を大切にしている。
	人柄・人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ● 町民には協調性がある。 ● 近所の底力というが、隣近所を大切にしている。 ● のどかな田園都市（町）であり、農村であったため、労力を提供し地域に奉仕することに抵抗を感じない。 ● 地域で災害が少ないが故、他の場所での災害に対して敏感で同情心が強い。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 住みやすくするため、近隣のお付き合いの取りまとめや交際の際のご祝儀等を華美にしないなど、地域で合意を得つつ生活改善を行っている。 ● 子ども文庫では本の貸し出し以外に、折り紙などの昔ながらの遊びも教えてくれる。婦人会の総会時も活動報告だけでなく子育て相談などが沢山出てくるので、大変よい。
石田・十二里	自然	<ul style="list-style-type: none"> ● 鯉が泳ぐ石田川（自然が豊か、自治会や住民の手で実現） ● 年中、花が咲いている。（夏：ベゴニア、冬：パンジー） ● 樹木・四季折々の自然が豊か。（守山市民公園） ● 天神川のホタル。
	住みやすさ	<ul style="list-style-type: none"> ● 水、空気、人間、交通の便がよく住環境が最高。 ● 交通の便がよく、どこに行くのも便利。

自治会	分類	特 徴
		<ul style="list-style-type: none"> ● 道路がきれい。 ● 守山市のへそ（中心地）に位置している。 ● 玉津学区に唯一のコンビニがある。（石田）
	人柄・人のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ● 玉津学区のつどい、運動会に向けて協力し合えている。 ● 自治会活動が円滑。女性の代理がいる先進地。（石田） ● 住民同士の間関係がよい。 ● 人と人の絆が深く、男女共同のまちづくりを推進している。高齢者の居場所（地域交流センター：ななまがり）があり、地域で活性化に寄与。（石田） ● 住民のボランティア意識が強い。 ● こぢんまりとしていて、住民がすぐに集まれる。何についても全体会議ができる。（十二里） ● まち全体がまとまっている。報恩講等が行われている。先祖代々からの助けあいの仕組み。 ● 二宮神社の祭、神輿かき。（十二里）
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 明治 13 年 55 戸 248 年→昭和 40～50 年にかけて用地造成。→現在 530 戸（石田）

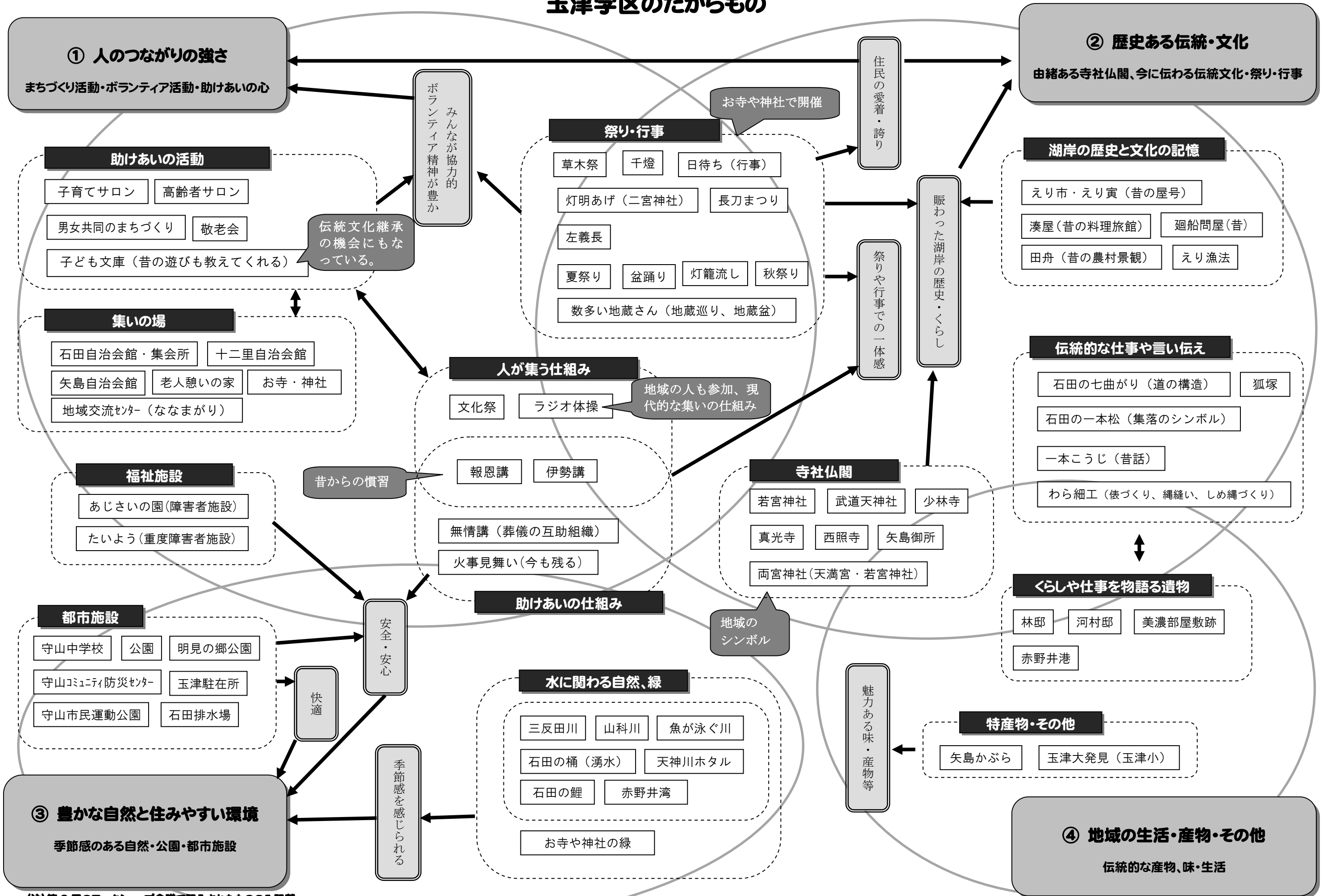
1.2 地域のたからもの

分類	内容	地域	その他	
集いの場・活動	石田自治会館・集会所・地域交流センター（ななまがり）	石田	● 石田には、地域交流センター（ななまがり）が整備され、地域の高齢者の貴重な居場所となっている。	
	十二里自治会館	十二里	● 地域の人の集いの場	
	敬老会、文化祭、高齢者サロン、子育てサロン	石田・十二里	● 地域住民の集いの場として機能	
	ラジオ体操	矢島	● 小学生のみならず地域の人の参加があり、人の輪が広がっている。	
	矢島すこやかサロン	矢島	● 地域の人の集いの場	
	矢島自治会館	矢島	● 地域の人の集いの場	
	男女共同のまちづくり	石田	● 男女共同のまちづくりを目標した各種取組を実施（地域の役員等）	
	子ども文庫	矢島	● 本の貸し出し以外に、折り紙など昔ながらの遊びも教えてくれる	
	報恩講	赤野井・石田	● 親鸞聖人の祥月命日前後に本願寺別院で営まれる法要。十二里では各戸で在家報恩講が行われ、地域住民が一同に集まる。	
	伊勢講	赤野井	● 伊勢神宮へ隣組単位で順番に一泊参詣する集まり	
	無常講	赤野井	● 掛け金を積み立て、葬祭時の費用に充てる互助組織。	
	火事見舞い	赤野井	● 助け合いの仕組み。今も残る	
	玉津大発見（玉津小）	赤野井	● 玉津の地域を知り、子どもたちに伝える取組	
	伝統・文化	地藏さん	赤野井	● 集落の中に70ヶ所ほどある。地藏巡りや地藏盆が行われている。
		えり市・えり寅	赤野井	● 湖岸付近には「えり」のつく屋号が多かった。
えり漁法		赤野井	● 伝統漁法	
一本こうじ（力士）		石田	● 昔話として今に伝わる。	
日待ち		十二里	● 農村公園で1月に実施。（みんなで日の出を拝む行事）	
狐塚		石田・十二里	● 御神輿を燃やした灰が埋まっている	
わら細工		十二里	● 俵づくり、縄縫い、しめ縄づくり 松岡芳雄が継承	
赤野井港		赤野井	● かつては蒸気船が入港していて賑わっていた。	
湊屋（料理旅館）		赤野井	● 赤野井港付近にあった。	
廻船問屋		赤野井	● 赤野井港付近にあった。	
歴史	美濃部屋敷跡	赤野井	● 昔の御屋敷	
	田舟	赤野井	● 昔、水路や内湖に浮かぶ舟が見られた。	
	石田の七曲がり	石田	● 石田集落内の道路がくねくね曲がっている。	

分類	内容	地域	その他
自然	豊富な魚	赤野井	● 川には魚が豊富だった。→ 水路の改修で川に魚がいなくなった。
	石田の一本松	石田	
	三反田川	矢島	
	山科川	矢島	● 魚が泳いでいる。
	川	矢島	● ホタルが飛んでいる川がある。
	石田の桶	石田	● 湧水、昔は湧いていた。今はポンプ。
	石田川の鯉	石田	● 自治会や住民の手で実現
	天神川のホタル	石田・十二里	
	若宮神社	石田・十二里	● 左義長が有名
	両宮神社(天満宮、若宮神社)	石田・十二里	
寺社仏閣	武道天神社	矢島	
	真光寺・西照寺	矢島	● 朝夕と2回お寺の鐘が鳴る。
	矢島御所	矢島	
	少林寺	矢島	
	草木祭	石田・十二里	● 伝統文化が継承されている。
	左義長	石田・十二里	● 若宮神社
	二宮神社の灯明あげ	十二里	● 6月1日と9月1日に実施。二宮神社は小津神社と向かい合っている。
	地藏盆、灯笼流し	十二里	● 守山川
	夏祭り、盆踊り	石田・十二里	● 地域コミュニティの継承の場となっている。
	秋祭り	十二里	
歴史(祭り)	盆踊り	矢島	● 武道天神社境内で開催
	千燈	矢島	● 矢島武道天神社で開催
	草木祭(秋祭り)	矢島	● 子ども神輿(2社)、小津神社祭りの踊り子が町内をねり歩く。毎年、輪番
	長刀まつり	矢島・赤野井	● 小津・玉津両学区にまたがる祭。小津神社から小津若宮神社まで踊り歩く。7年に1度の輪番制で実施

分類	内容	地域	その他
都市施設	明見の郷公園	石田	● 公共施設
	守山市民運動公園	石田	● 公共施設
	玉津駐在所	石田	● 警察
	北消防署・守山コミュニティ防災センター	石田	● 消防施設・防災啓発施設
	石田排水場	石田	
	守山中学校	石田	
	自治会館前の公園	矢島	
	集落の中心部に都市機能が集積	赤野井	● 赤野井は玉津の中心地だった。銀行・駐在所などの都市機能が集積していた。
居場所・福祉	たいよう	石田	● 重度障害者施設
	あじさいの園	石田	● 障害者施設
	老人憩いの家	石田	● 高齢者の集いの場
地域の産物	矢島のかぶら	矢島	● 矢島のかぶらの漬物が美味しい。
	林邸、河村邸	矢島	
その他			

玉津学区のたからもの



(注) 第2回のワークショップ会議で記入されたもののみ記載。